

会議名	令和5年度 西尾市地域包括支援センター運営協議会 (兼認知症初期集中支援チーム検討委員会)
日時	令和5年11月1日(水)午後1時30分～3時
場所	西尾市役所 51ABC会議室(5階)
出席者	委員14名、地域包括支援センター7名、事務局4名
傍聴者	なし
協議事項	<p><u>1) 各地域包括支援センター活動報告等</u>  ※各包括が職員体制、前年度決算、事業実施状況、今年度計画を説明。</p> <p><u>2) 令和4年度指定介護予防支援の委託件数について</u>  令和4年度は7包括中、包括一色で16件、包括吉良において33件、計49件の委託業務が行われた。</p> <p><u>3) 西尾市認知症初期集中支援チーム事業の概要等</u>  認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた域で暮らし続けられるように、複数の専門家が、認知症の人やその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を集中的に行い、自立支援のサポートを行う。令和4年度はチーム員会議を5回開催した。検討事例は7名で、新規事例は5名であった。</p>
質疑応答	<p><u>Q) 各包括の事業説明にあった「ポールウォーキング」とはどのようなものか?</u>  A) ストック(杖)を使って姿勢を保ちながら歩く。姿勢を良くし、大股で歩くのが健康に良いとされている。ノルディックウォーキングというものがあったが、ライセンスの問題で、ポールウォーキング協会が出来上がった。</p> <p><u>Q) 「フレイル」とはどのような意味か?</u>  A) 簡単に言うと「虚弱」という意味。高齢者になると痩せてきたり、栄養状態が悪くなってくる。移動ができないとか、転びやすくなったり、そういったものをフレイルと呼んでいます。</p> <p><u>Q) ACPとは?</u>  A) 「アドバンス・ケア・プランニング」の略で、「人生会議」という言い方もあるが、終末期にどのようなケア、医療を受けたいのか? 医者、家族等と話し合うこと。書面に記しておくこともある。</p>